

6/21～22の洪水対応について(6月22日時点 速報)

6月21日から22日にかけて台風5号崩れの低気圧通過による豪雨を受け、大和川で水位が上昇し、大和川河川事務所では21日13時35分から注意体制、23時00分から翌22日9時15分まで警戒体制をとり、23名が現場巡視、情報収集、洪水予報、水防対応にあたりました。

洪水の状況と事務所の対応は次の通りです。

- ・ 佐保川の番条地点(大和郡山市、寿橋付近)上流では累加雨量108mmの豪雨があり、その結果、水位は避難判断水位2.7mを超えて3.06mまで上昇しました。
- ・ 柏原地点上流の累積雨量は120mm、水位は3.67mまで上昇し高水敷まで冠水しました。流量は最大で毎秒約1,700m³(25mプール約2.5杯分)の水が流れました。(昭和28年からの柏原地点での観測史上5番目相当)
- ・ 今回行った洪水予報及び水位情報周知は次の通りです。

佐保川	22日	1時45分	はん濫警戒情報周知
大和川下流	22日	3時50分	洪水予報 はん濫警戒情報発表
大和川上流	22日	3時25分	洪水予報 はん濫注意情報発表
- ・ 番条地点の水位が避難判断水位を超えた時点で、大和川河川事務所から大和郡山市役所に情報連絡員を派遣、また、災害対策車(照明車、排水ポンプ車)を奈良県域に移動し、待機しました。

【参考】

はん濫警戒情報:発表されると市町村から避難勧告等が発令されることがある

はん濫注意情報:発表されると地域の水防団が河川巡視等のために出動する

避難判断水位:市町村または住民にとって避難行動の判断を行うべき目安となる水位



平常時

今回の洪水

